

令和4年歌会始のお題と詠進歌のお知らせ

歌会始とは

人が集まって共通の題で歌を詠み、その歌を披講する会を歌会といいます。

「歌会始」は、毎年1月に宮中で行われ、広く一般から詠進（自作の短歌）する国民参加の文化行事です。

お題

窓

※「窓」の文字が組み込まれていればよく、「窓辺」、「車窓」、「同窓」のような熟語にしても差し支えありません

詠進歌の詠進要領（概要）

- ・詠進歌は、お題を詠み込んだ自作の短歌で一人一首とし、未発表のものに限ります。
- ・用紙は半紙（習字用）とし、毛筆で自筆してください。書式は、半紙を横長に用い、右半分にお題と短歌、左半分に郵便番号、住所、電話番号、氏名（本名、ふりがなつき）、生年月日、性別、職業を縦書きで書いてください。無職の場合は「無職」と書いてください（以前に職業に就いたことがある場合には、なるべく元の職業を書いてください）。なお、主婦の場合は「主婦」と書いても差し支えありません。病気や身体の障がいのため自書することができない場合は、代筆やパソコンの使用も可能です。視覚障がいの方は点字で詠進しても差し支えありません。

郵便の宛先

〒100-8111 宮内内 ※封筒に詠進歌と書き添えてください

詳しくは宮内庁ホームページの詠進要領をご確認ください。

<https://www.kunaicho.go.jp/>



クールビズのお知らせ

令和3年6月1日～9月30日

- ☆ 役場（本庁舎・出先機関）では、6月1日から9月30日まで夏の軽装（クールビズ）を実施します。
- ☆ 職員は軽装（ノー上着・ノーネクタイ、ポロシャツなど）で業務を行いますので、ご理解とご協力をお願いします。
- ☆ 会議等で役場機関へお越しの際は、ノー上着・ノーネクタイ、ポロシャツなどの軽装でお越しください。



ほろのべの裏窓

■裏窓を書いている本日は5月20日、温かい日が少しづつ増えてきており、春の終わりを感じますね。

■さて、今月号に掲載しているまちの話はご覧になられたでしょうか。見てくださった方は既にご存じかと思いますが、5月17日に字幌延の松田牧場で、地域おこし協力隊と集落支援員と一緒に羊の毛刈り体験をさせていただきました。羊はロマノフ種という種類で、日本ではとても珍しく幌延以外にはあまりいないそうです（調べてみるとロシアが原産地でした）。

■毛刈りの際は暴れる羊とおとなしい羊の差が激しく、松田夫婦との格闘シーンもしばしば。羊はもとより、牛などの飼育をしている農家さんの日々の仕事の大変さが

四月定例俳句会作品

幌延ほおずき俳句会

歲月やスマホ覗きつ目刺食う	横山 貞雄
目刺千す一直線に泳ぐかに	小玉 利治
戦友と目刺肴に夜を明かす	富樫とも子
海色の煙を流し目刺焼く	田中 順子
生きて来し苦味も少し目刺食う	田中 徹男



分かりました。ご協力いただいた松田さん、貴重な体験をありがとうございました。

広報へのご意見、ご要望をお寄せください

住民生活課生活グループ

電話 5-1112 / 告知端末機 5-8812

広報ほろのべの窓 6月号 令和3年6月 発行／幌延町

企画・編集／住民生活課生活グループ 印刷／株式会社須田製版

幌延町ホームページアドレス / <https://www.town.horonobe.hokkaido.jp>